



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

東海北陸厚生局

RECRUIT GUIDE

採用案内



若手職員に聞いてみました

Q.若手職員にこんな質問をしました。

- ① 東海北陸厚生局を選んだ理由は？
- ② 現在担当している業務について教えてください。
- ③ 実際に入局してみて感じたことは？



年金審査課 一般職員 採用2年目

- ① 生活上必要不可欠な分野の基盤を支えているところに惹かれました。
- ② 年金記録の訂正の可否の方向性を検討したのち、第三者の有識者の方に中立的な立場で審議していただく年金記録訂正審議会での事案の説明や運営に主に携わっています。
- ③ 質問しやすい職場だと思います。年金について右も左もわからない状態ですが、すぐ隣の上司に聞ける環境です。去年は他課とやりとりする機会の多い係でしたが、1年目の私に対して他課のみなさんとても丁寧に教えてくださいました。

1日のスケジュール

8:30
始業・メール確認

12:00
昼食

15:00
レクや年金記録訂正審議会のための説明資料作成

9:30
調査員と事案について打合せ

13:00
年金記録訂正審議会のための事務処理

17:15
退庁

- ① 医療や健康福祉など国民の生活の基盤を支える業務に携わることに魅力を感じ、志望しました。
- ② 補助金(義務的経費)の執行や栄養士・介護福祉士といった健康福祉に関する養成施設の審査を担当しています。
- ③ 周囲の方々は親切で相談しやすく、色々と教えていただけるので、日々成長を実感できています。ときに責任重大な案件もあるため、自分で抱え込まず、先輩方とコミュニケーションをとることが重要だと感じています。



健康福祉課 一般職員 採用2年目

1日のスケジュール

8:20
出勤・メール確認

12:00
昼食

13:00
養成施設届出の審査、民生委員の書類審査

8:30
始業

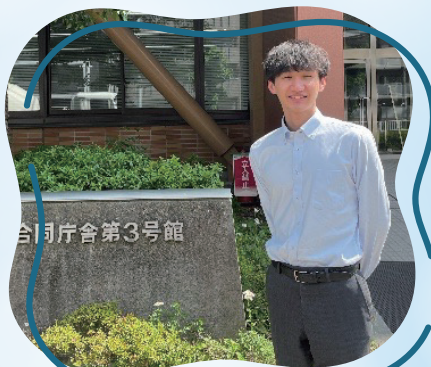
9:00
補助金申請書の審査

17:15
退庁

先輩職員に聞いてみました

Q.先輩職員にこんな質問をしました。

- ① 現在担当している業務について教えてください。
- ② 所属している課の雰囲気はどうですか？
- ③ 休みの日はどのように過ごしてリフレッシュしていますか？



総務課 一般職員

- ① 共済やフレックスタイム制に関する業務を行っています。共済は様々な給付を通して、職員やその家族の生活の安定を図ることを目的とした制度であり、フレックスタイム制は職員が自分にあった働き方ができるよう、1日の勤務時間を変えることができる制度です。職員の働きやすい環境作りの一助を担えていることにやりがいを感じています。
- ② 質問や相談がしやすい雰囲気です。初めて配属された課で戸惑うことも多いですが、年次に関係なく、困ったことがあれば相談ができるため、悩みを抱えることなく業務に取り組めます。
- ③ 動物や自然が好きなので、実家で飼っている犬と遊んだり、マンスリー休暇や夏季休暇を利用して旅行先で動物や自然に触れたりすることでリフレッシュをしています。

- ① 現在は、三重県内の歯科医院に対する指導を主として担当しています。歯科治療の専門的な用語や診療報酬のルールを日々勉強しながら、三重事務所に勤務している歯科医師の先生と共に、面談方式や集合形式での指導を行っています。
- ② 旅行のお土産を渡し合うような、とても温かい雰囲気職場です。難しい事案が発生した際には、周りの職員からそれぞれの経験に基づいたアドバイスをいただきながら業務を進めています。
- ③ 家族や友人と外食などの楽しみを週末に作ってリフレッシュしています。1時間単位の休暇やテレワークも活用しやすい雰囲気があるので、ワークライフバランスが実現しやすいと感じています。



三重事務所 指導第一係長

出向経験者に聞いてみました

Q.出向経験者にこんな質問をしました。

- ① 出向していた時の業務内容について教えてください。
- ② 出向して感じたことを教えてください。
- ③ 受験生へのメッセージをお願いします。



厚生労働省 大臣官房地方課
地方厚生局管理室に出向

- ① 全国に所在する厚生局の取りまとめや本省との調整役となる部署に2年間出向しました。本省からの依頼について各局への周知・取りまとめや、人事・給与等に係る事務作業を主に担当していました。
- ② 全国の厚生局とやり取りする機会が多いため、全局に知り合いができたことは貴重な経験でした。また、政策立案の現場を間近に感じ、本省ならではの経験ができました。プライベートでは、東京の刺激的な環境の中で楽しい東京生活を送ることができました。
- ③ 厚生局での業務は多岐に渡るため勉強の日々ですが、周囲に相談しやすく、上下関係なく活発な意見交流が行える職場です。また、本省や他の厚生局等、希望すれば様々な場所に出向することも可能なので、様々な経験ができます。業務説明会やこのパンフレットを通じて少しでも厚生局に興味を持っていただけたら嬉しいです！

課長級職員に聞いてみました

Q.課長級職員にこんな質問をしました。

- ① 現在の課の業務について教えてください。
- ② 業務で感じたやりがいを教えてください。
- ③ どのような人に厚生局に来てほしいですか？

- ① 地域包括ケア推進課は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を支援しています。管内自治体の職員を対象にセミナーや意見交換会を開催し、自治体担当者間の連携についても促進しています。
- ② 自治体における地域包括ケアシステム構築の課題を整理し、どのように支援していくか、課員とディスカッションを重ねながら取り組みを考えています。高齢者が安心して暮らせる社会づくりに貢献できる、やりがいのある職場だと思います。
- ③ 地域包括ケアシステムの課題は多様で、正解が一つとは限りません。柔軟な発想で新たな視点を持つ方と一緒に仕事ができると嬉しいです。

地域包括ケア推進課 課長



ワークライフバランス推進についての取組

東海北陸厚生局では、性別や障害の有無、家族の育児・介護等の事情にかかわらず、働きやすい職場づくりを進めつつ、行政サービスの向上に取り組んでいます。

主な取組・支援制度

年次有給休暇

月1日以上かつ年16日以上を目処に年次休暇の取得を促進しています。

夏季休暇

原則7～9月に連続する3日間の休暇が取得できます。祝日や年次休暇と組み合わせて長期の休暇とすることを奨励しています。

育児

妊娠～産後

産前産後休暇

産前6週間、産後8週間を経過するまでの期間、休暇を取得できます。

男性職員の配偶者出産休暇

妻の出産のための入院～出産後2週間までの間に、2日まで休暇を取得できます。

男性職員の育児参加休暇

妻の出産予定日の6週間前から出産の日以後1年の間に、5日まで休暇を取得できます。

通称「男の産休」

2つの休暇を合わせて5日以上の取得を推進しています！



定時退庁

月の出勤日（テレワーク及び出張を含む）の4割以上を目処に定時退庁を実施しています。

テレワーク

希望する全職員（育児や介護などの配慮を要する職員を含む）が業務に支障のない範囲で実施しています。

産後～3歳

育児休業

配偶者の就労状況にかかわらず、育児休業を取得できます。加えて男性職員は、産後パパ育休（※1）を取得することができます。

※1 出生日から57日以内の育児休業

取得実績（令和6年度実績）

女性 100 %
男性 100 %



産後～小学校就学前

育児時間

1日の勤務時間の一部（2時間まで）を勤務しないことが認められます。

育児短時間勤務

勤務時間を1日3時間55分（週19時間35分）など、通常（1日7時間45分）よりも短縮できます。

超過勤務の免除

小学校就学前の子の養育のために、申請をした上で超過勤務が免除されます。

産後～小学校3年生まで

子の看護等休暇

年5日まで（対象となる子が2人以上の場合には年10日）の範囲内で1時間単位で休暇を取得できます。

介護

配偶者・父母・子等の介護をする場合
（短期介護休暇は、その他の世話（手続きの代行等）を行う場合にも取得可能）



介護休暇

6ヶ月期間内で必要と認められる期間、休暇を取得できます。

短期介護休暇

年5日まで（対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日）、1時間単位で休暇の取得ができます。

育児・介護共通

小学校就学前の子どもを養育、
又は配偶者・父母・子等を介護する場合



早出遅出勤務

始業、終業時間を繰り上げ又は繰り下げて勤務することが認められます。

深夜勤務・超過勤務制限

深夜勤務（午後10時から翌日午前5時まで）が制限されます。また、超過勤務は月24時間・年間150時間以内に制限されます。

ワークライフバランス

育児休業制度を利用した 職員に聞いてみました



総務課 情報保護係長



昨年5月に娘が誕生し、約半年間育児休業を取得しました。繁忙期に差し掛かるタイミングでの取得だったので不安はありましたが、上司や同僚の理解とサポートに支えられ、安心して取得できました。育児休業中は慣れない育児に振り回され大変でしたが、子どもの成長を実感できる充実した時間を過ごすことができました。

4月からは育児時間という制度を利用し、子どもを保育園に送ってから出勤しています。帰宅後もお風呂や寝かしつけ、保育園の準備などやることは多いですが、子どもの成長を身近に感じながら働ける今の環境に感謝しています。

私は育児休業から復帰後の令和6年10月に総務課へ配属になりました。現在1歳の娘がいます。育児休業中は子どもと濃密に関わることができましたが、社会とのつながりを維持することも大切だと感じました。

職場では、育児時間の制度を利用し朝に1時間勤務時間を短縮して働いています。復帰する際には仕事と家庭の両立ができるか不安もありました。子どもの体調不良等で思うように仕事ができないこともありましたが、職場の上司や同僚の方々にサポートいただき、大変感謝しております。また、テレワークの環境も整い効率的かつ柔軟な働き方も可能になりました。仕事も家庭も楽しみながら両方を大切にしていきたいと思います。



岐阜事務所 一般職員



東海北陸厚生局 Q&A

気になる質問集めてみました

Question

01

採用に当たって厚生行政に関する専門知識は必要ですか？

Answer

採用時において、特別な専門知識は必要ありません。東海北陸厚生局では、皆さまのご家族にも関係の深い医療、健康、福祉、年金など、赤ちゃんからお年寄りまで国民の皆さまの健康で安全・安心な暮らしを支えるための業務を行っています。さまざまな事柄に広く関心を持っている人は大歓迎です。

Question

02

職員研修はどのような研修がありますか？

Answer

新規採用者は、4月の採用後すぐに、新規採用職員研修を受講します。また、職員研修は、厚生局の業務に関する研修、新規採用者等フォローアップ研修、タイムマネジメント研修、福祉施設等での実務研修等、資質向上を目的として、年間を通じて計画的に実施しています。

さらには、人事院や日本年金機構等の外部機関が開催する研修にも参加する機会があり、職員研修を通じて、職員の更なるスキルアップを図っています。

Question

03

人事異動について教えてください

Answer

人事異動は、多くの職員は、だいたい2～3年ごとです。年1回実施する意向調査により本人の希望や配慮すべき事情を確認するとともに、能力や適性を勘案して、適材適所となるように人事異動が行われています。転勤(転居を伴う異動)は、基本的に東海北陸厚生局の管轄区内となりますが、厚生労働省本省や地方自治体、日本年金機構、国立病院機構等に出向して経験を積む職員もいます。

Question

04

勤務時間や残業(超過勤務)について教えてください

Answer

勤務時間は、午前8時30分～午後5時15分(昼休み:12時～13時)(名古屋市勤務の場合は、午前9時～午後5時45分もあり)の7時間45分勤務となっています。配属先や業務の繁忙な時期に残業となることもありますが、定時退庁日として毎週水曜日と金曜日を設定しており、職員各自が早く帰れるように心がけています。

また、フレックスタイム制度が導入されたことにより、ワークライフバランスの推進を図っています。

Question

05

休暇制度について教えてください

Answer

年次有給休暇は、毎年(1月1日～12月31日まで)20日間あり、翌年は、使用しなかった日数のうち20日を限度に繰越されます。ただし、4月採用者の場合、採用年は15日間で、翌年以降は20日間となります。年次有給休暇の他に、夏季休暇(3日間)、結婚の時・親族が死亡した時、子の看護をするときなどに特別休暇があり、病気休暇や介護休暇などの制度もあります。

Question

06

宿舍や住居手当はありますか？

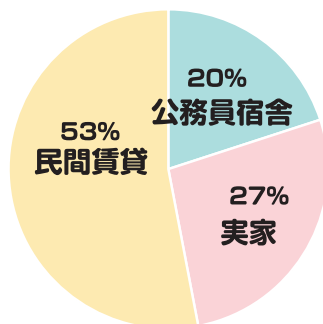
Answer

新規採用者は、希望に応じて公務員宿舍に入居することができます。

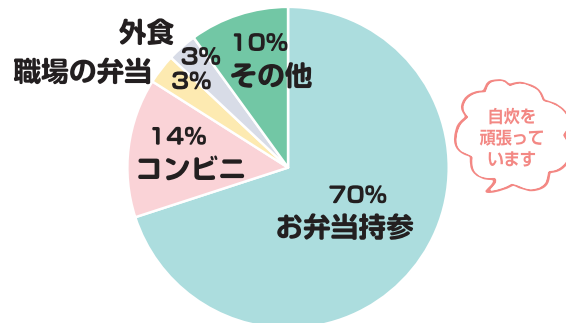
また、民間の賃貸住宅に入居した場合には、家賃額に応じて、住居手当が支給されます。

若手職員にアンケート

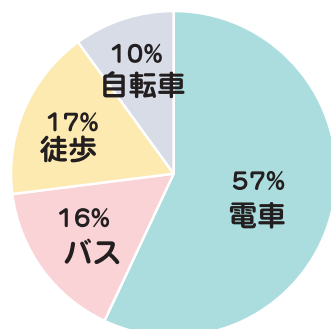
どんなところに住んでいますか？



お昼ご飯はどうしていますか？



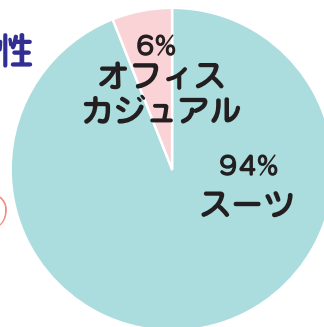
通勤方法は何ですか？



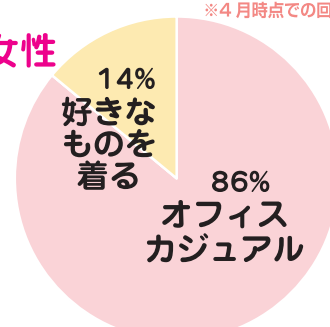
職場はどのような服装で来ていますか？

※4月時点での回答

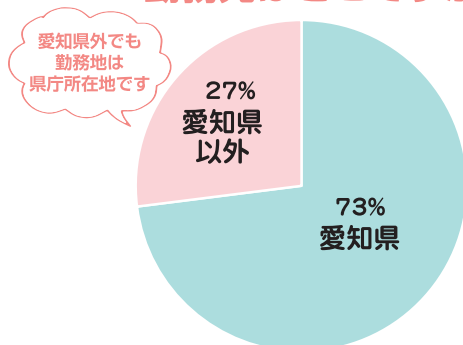
男性



女性

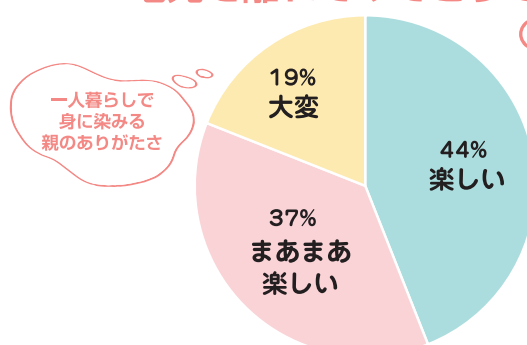


勤務先はどこですか？



地元を離れてみてどうですか？

(地元以外で勤務している人)



業務で感じたやりがいや苦労

- ・最初は関係法令を理解することに苦労しますが、努力することで新しい知識が得られ、自分の成長につながると感じます。
- ・関係する自治体や団体との調整をすることがあるため、最初は苦労しましたが、うまくいった時はやりがいを感じました。

東海北陸厚生局を選んでよかったこと

- ・年休制度等が整備されており、しっかり取得できること。また周囲の方に質問しやすいこと。
- ・職場の雰囲気が良いこと。
- ・年金や医療など国民の身近な仕事に従事できること。
- ・困っている人がいれば周りでサポートする風土があるところ。

採用後のキャリアパスについて

採用後8年目以降に係長級となり、部下に対する指導・育成の業務も担います。18年目以降に課長補佐級となり、課内の予算・勤怠などの管理、調整、対外交渉など重要な業務を担当します。様々な配属先での業務経験を経て、課長等へ昇進していきます。また、厚生労働省本省や日本年金機構、国立病院機構との人事交流も行っています。

経験年数

10年

20年

30年



新規採用

係長
専門官

本局課長補佐
事務所課長
監査官

本局課長
事務所長



同期や学生時代の友人と遊ぶ



遠出をして自然に触れて
リフレッシュ

皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！



実家の犬と遊ぶ



先輩からの官庁訪問時のアドバイス

緊張すると思いますが、暗記したことを言うより、明るく自然体で会話ができると自分の良さが伝わるとと思います。個人的には笑顔を意識するようになってから、体に力が入りすぎず、声が出やすくなった気がします。

「焦らず、落ち着いて」。難しいことではありますが大事なことです。いつもの自分を出す為にも、入念に準備をすることで、当日の焦りを減らすことができると思います。

ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

東海北陸厚生局



公式 HP



Instagram



YouTube